

町民各位

遠州大念仏早出町保存会

夏の風物詩

# 「山門施食会&大念仏」の実施について

夏の慣習である「お盆」の儀式と合わせて山門施食会(水向け供養)が7月12日(水)玉伝寺と法盛院で行われ、新盆供養のお宅と、その他の檀家のご家族が参加されました。

夕方には町内の遠州大念仏保存会(代表:間淵欽也)による供養も披露され、近所の皆さんが演奏や踊りを楽しまれました。普段、見る機会がなく、知らない方も多いことでしょうかからお知らせします。近年は、文芸大の学生さんの参加も大勢いて、浜松祭りのラッパ隊参加も含めて地域の応援に感謝申し上げます。

## ＜山門施食会とは＞

施食会(せじきえ)とは、もともと施餓鬼会(せがきえ)と言われ、餓鬼に施すという意味です。餓鬼とは生前の悪行の報いで餓鬼道に落ちた亡者のことを言います。飢えや渇きに苦しんでいる餓鬼に施しを与えて救うと共に、亡くなった方、無縁仏など全ての精霊に向けて供養をするもの。この功德により施主も寿命が長らえるという教えに基づき行われる儀式。先祖供養と一緒に行われることが多く、鎌倉期より続く伝統的な法要です。



(写真提供:玉伝寺)

また、来年、夏の風物詩である盆供養の法要と、遠州地域の伝統芸能をお楽しみください。